学校番号	T0106

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	リビングデザイン	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	なし						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

家庭科はこれから生活を営む上で基礎・基本となる大切な教科です。
住生活に関する事柄を専門的に学習し、実習・設計を通して住生活の技術を身につけていきます。

2　学習の到達目標

住生活と文化、住空間の構成と計画、インテリアデザインなどに関する知識と技術を習得し、快適な住空間を計画し、デザインする能力と態度を身につける

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	住生活と文化、住空間の構成と計画、インテリアデザインなどについて感心をもち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	住生活と文化、住空間の構成と計画、インテリアデザインなどについて課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている	住生活と文化、住空間の構成と計画、インテリアデザインなどに関する基礎的・基本的な技能を身につけている。	住生活と文化、住空間の構成と計画、インテリアデザインなどに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評価方法	・プリントの感想欄等の記述 ・授業に向かう姿勢	・プリントのワーク欄等の記述 ・定期考査の結果	・実習の技能 ・実習のレポートの記述 ・定期考査の結果	・定期考査の結果 ・映像の鑑賞 ・提出プリントの記述

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="4">前期</td><td rowspan="2">住文化</td><td>住居の歴史、住居の地域性についての理解を深める</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td rowspan="2">a:住文化について興味・関心を持てている
b: 住文化を主体的に捉え自身の考えを持つことができる
c:平面図をトレースする技術が身についている
d:住文化に関する正しい知識を身につけている</td><td rowspan="4">学習状況
実習
レポート
プリント
定期考査</td></tr>
<tr><td>平図面の理解、トレース</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">住居の設計</td><td>人体モジュールやゾーニングを学ぶ
平面表示記号を理解する</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td rowspan="2">a:住居の設計について興味・関心を持てている
b:住居の設計について、住みての問題を理解し、解決できる。
c:住居に関する問題を解決する基礎的な設計技術が身についている
d:設計に関する正しい知識を身につけている</td></tr>
<tr><td>設計実習
(木造住宅の設計)</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
</table>

後期	インテリアデザイン	インテリアデザインの基礎を学ぶ	○			○	a:インテリアについて興味・関心を持てている b:インテリアの設計について自身の考えを持つことができる c:自身の考える照明器具を図面に描く技術が身についている d:インテリアに関する正しい知識を身につけている	学習状況 実習 レポート プリント 定期考査
		製作実習 (照明器具の製作)	○	○	○			
	住環境	住生活の充実・向上を目指して改善点を具体的に考える	○	○		○	a:住生活について興味・関心を持てている b:住生活を主体的に捉え自身の考えを持つことができる c:住生活に関する問題を解決する方法を持つことができる d:住生活に関する正しい知識を身につけている	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※ 原則として一つの単元ですべての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○をつけている。